

鈴木昌俊のちば県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

最大会派自民党を代表し質疑

不適正経理 問題で知事

「丸となり県民の信頼を回復

■市原市特集■ 12月定例県議会



12月県議会で自民党の代表質問を行なう鈴木昌俊県議

市原市民の期待を担って活発な議会活動を繰り広げている鈴木昌俊(すずき・まさとし)県議は十二月県議会で、最大会派の自民党議員の代表として登壇し、質問を行いました。卓越した見識に裏打ちされた質問は十三項目に及び、それぞれの課題について県の取り組みや方針を質しましたが、鈴木議員の質問に森田知事は「新たな総合計画策定に伴い、既存の二つの中長期計画を取りやめる」と表明し注目されました。主な質疑を特集します。

鈴木議員 県の不正経理が報告されてから三カ月が経とうとしている。平成二十年年度決算でも八億二千七百万円もの不適正経理が会計検査院によって指摘された。

このままでは県政の停滞を招いてしまうと危惧され、一刻も早く沈んだ気持ちを一新し、新しい千葉県県庁として再出発しなければならぬ。

そこだろうかろうが、職員からの返還金については、役員に当たった区分によって管

遅れる政府 県予算編成に影響も

鈴木議員 鳩山内閣は政権交代後、国内経済に活力を取り戻すためのカンフル剤としての一次補正予算の執行を停止したことは、地方自治体に変な混乱を与え、国民にも政府への不信感を植え付けた。

国による補正予算の凍結などを踏まえて、十二月補正予算はどのような考え方で編成したのか。

知事 今年度の十二月補正予算については、厳しい経済情勢を踏まえ、引き続き、経済・雇用対策の推進、新型インフルエンザ対策など、緊急的に対処すべき課題に対し、必要な予算の措置の二点を基本として編成したところです。

理職が負担することとしていたが、多額の職員返還金を負担する職員のトップとして、知事自らはどのような考えを持っているのか。

知事 「森田県政ではこのようなことは決して許さないし、決してやらせない」という強い決意を持って取り組んでいます。二度とこのような不祥事を起こさないよう、職員と丸となり県民の皆様の信頼を回復すべく、全力で再発防止策に取り組みしていくことが、私の責務と認識しています。

再質問

鈴木議員 行政刷新会議による事業仕分けは目先の財源確保ばかりに終始し、長期的視点が欠けていると再質問
鈴木議員 知事 権の現状と今後の展望をどう見ているのか。

知事 ハツ場ダムや館山道の凍結に見られるように結論ありきというのは、一番いけないことだと思ふ。しかし、全国知事会においても、民主党は「地方を大事にする」「地方の話をも十分に聞くと」言っているのだから、それを信じたいし、これからもお願いしたいと思っています。

いわれても仕方がない。果たして、今の状態で政府予算案や地方財政計画を年内に決定できるのか、大変憂慮される。政府予算案や地方財政計画の決定が遅れていった場合、県の予算編成にどのような影響が生じるのか。

副知事 先行きが見通せない状況になっていますが、政府予算案や地方財政対策の決定は、例年通り年内に行なわれるものと考えております。

仮に遅れた場合は、地方交付税をはじめとする歳入の見積もりや、国庫補助事業の歳出予算への計上が困難になり、本県の予算編成にも大きな影響が生じるものと考えられます。

鈴木議員 千葉県の将来を見据え、県は今後、組織をどのように見直していくのか。

知事 これまでに行なってきた組織再編に伴い、生じてきた課題の検証も十分に踏まえ、組織の持つ力を最大限に引き出す体制を確立していくことを基本的な考え方としています。

鈴木昌俊プロフィール

経歴

- 昭和22年3月生まれ
- 昭和62年6月 市原市議会議員初当選
- 平成11年4月 千葉県議会議員初当選
- 平成19年4月 千葉県議会議員再選

現職

- 県議会 総合企画水道常任委員会委員
- 千葉県 都市計画審議会委員
- 自民党県連 総務会副会長
- 自民党県連 議員会副会長

県政や市原市のご相談、ご要望はお気軽に……

鈴木昌俊 県議事務所

〒290-0062 市原市八幡331-3
TEL.0436(43)1555

成田空港30万回発着急げ

県、既存の2計画を廃止へ

■市原市特集■ 12月定例県議会



議場の自席で再質問を行なう鈴木昌俊県議

鈴木議員 本県のさらなる発展の上で、計画的な県政運営は必要不可欠。現在、全庁を挙げて県政全般にかかわる最上位計画である総合計画の策定に取り組んでおり、このたび、計画原案が公表された。そこで、このたび示された総合計画原案の特徴は何か。また、既存の中期基本計画や長期ビジョンの扱いをどうするのか。

知事 県民の皆さんが元氣と活力を取り戻し、「千葉で生まれ、住み、働いてよかった」と思える千葉県にしたいとの願いから、県民が「暮らし満足度日本一」を感じ、誇れる千葉を実現することを基本理念に掲げました。新たに策定する総合計画は、今後の県政運営の基本方針になるものです。このため、「あすの千葉を拓く10のちから改訂版」と、「長期ビジョンみんなでひらく二〇二五年のちば」については、新たな総合計画が策定されますので、廃止したい考えです。

鈴木議員 羽田空港の国際空港化の動きに負けぬよう、成田空港の発着三十万回を早急に目指すべきと考えるが、知事の考えはどうか。

知事 国・県・周辺9市町・成田空港株式会社で構成する「四者協議会」では、空港会社から示された年間発着三十万回の可能性について協議しているところです。今月中には、三十万回時における「予測騒音範囲」と「環境対策・地域共生策の基本的な考え方」が空港会社から提示され、協議する予定になっています。県では協議が整い次第、空港周辺市町及び国、空港会社と連携して地元説明を開始する予定であり、年間発着回数三十万回について、一刻も早く地域の皆様のご理解が得られるように努力してまいります。

安全・安心な
ふるさとづくり
鈴木まさとし
県議

「予断許さず再検証を」

ハツ場ダムで国土交通大臣
鈴木議員 十月二十七日の国土交通大臣とハツ場ダム関連都県知事との会談の結果はどうだったのか。また、十一月十三日に行なった緊急申し入れの内容はどのようなものか。

知事 国土交通大臣からは、マニフェストに掲げた方針は堅持しつつも、徹底した情報公開のもと、治水・利水について予断を許さず再検証し、最終的な結論を得ていくとの方針が示されました。

一部五県の知事からは、

- 鈴木昌俊議員の代表質問項目**
- 県の不正経理問題
 - 県の財政問題
 - 県の組織体系
 - 新たな総合計画の策定
 - 成田空港問題
 - 港湾の在り方
 - ハツ場ダム建設事業
 - 新型インフルエンザ
 - 子どもの医療費助成拡充
 - 現下の経済情勢と当面の経済・雇用対策
 - 道路問題
 - ゆめ半島千葉国体教育問題

再質問

鈴木議員 一部五県の知事が連名で第二回目の緊急申し入れを行なった理由とその主な内容はどのようなものか。

知事 十一月二十日、ハツ場ダムの治水・利水にか

かわる再検証のスケジュールを明確にし、早急に実施することや、大臣と一部五県知事の話し合いの場を早急に設置するなどの三項目について、文章により速やかに回答されるよう、要請したところです。

市町村8割が拡大に賛成

子どもの医療費助成

鈴木議員 子どもの医療費助成について、小学校三年生までを対象に、新年度からの実施に向けて検討することとしているが、現在の進捗状況はどうか。

副知事 市町村へのアンケート調査の結果、全体の八割を超える四十七市町村から「拡大が望ましい」との回答が寄せられました。今後は、アンケート調査結果や市町村長との意見交換の結果などを踏まえ、平成二十二年度当初予算編成作業の中で、新年度の方針を詰めていきます。

鈴木議員 わが国の経済や雇用問題は引き続き厳しい状況が続いている。県は県内の経済状況についてどのように認識しているのか。また、厳しい雇用情勢に対して、どのような雇用対策を講じるのか。

副知事 県内の経済情勢も平成二十一年度上半期の企業倒産件数が累計で二百五十件と前年同期に比べて

五十一件増加し、十月の有効求人倍率が〇・四二倍と、きわめて低い水準にとどまっているなど、厳しい状況が続いていると認識しています。県としては、資金繰りや雇用の維持などに苦勞をされている県内中小企業の皆様のために、できる限りの対策を講じてまいります。

鈴木議員 道路の整備や維持管理は、豊かで、安全で安心な県民生活を支えていく不可欠なものだが、今年度道路特定財源が一般財源化され、地方にとっても重要な税収になっている揮発油税等の暫定税率廃止も議論されている。

副知事 圏央道の茂原から木更津間の供用が遅れる可能性が、国から県に示されたこと聞いてもいる。県は今後の県内道路網整備をどのように考えているのか。

副知事 国の道路関係予算の大幅な縮減など道路を取り巻く厳しい状況がありますが、「暮らし満足度日本一」を感じ、誇れる千葉の実現に向け、今後とも地域間の交流をより一層促進するため、効率的かつ効果的に道路思索を推進していきます。